

平成 25 年 3 月 13 日

中部学生ヨット連盟

新入部員を対象にしたヨット教室 企画書

1. 目的

- 大学ヨット部の部員が減少する中、新入部員が入ってきても新入部員を教えるだけの余力が無い、または、教える技術が無い部員が増えてきている。
- 加盟大学のヨット部員は、5 名～6 名程度で新入部員が入っても部活の活気の無さに敬遠してしまう可能性がある。
- 全大学 1 年生同士のコミュニケーション強化を図り、横の連携を強めると共に、切磋琢磨する事により部活動を楽しみ退部を防止する。

以上より、中部学生ヨット連盟が主催し初心者を対象にしたヨット教室を実施する。

2. 目標

- 風速 5 m 程度までの環境で、クルー、スキッパー両方が出来る程度にする。
- 中部学生ヨット個人選手権大会に間に合うように実施する。

3. 実施時期・内容

- 新入部員が入った直後から実施する。また内容は、ヨットの操船技術を学べるものとヨットの楽しさを味わってもらえる内容にする。日程は、6 回コースとする。詳細は、以下のとおりとする。

日にち	回数	場所	内 容		目 標
5 月 11 日 (土)	第 1 回	陸上 AM	座学	安全・基礎知識 各種名称等の習得	仕組み、基本動作等の一連を覚える。
		海上 PM	実技	ヨットの練習見学 安全・基礎知識の習得・簡単な操船	座学で学んだ内容を実技で実施する。
5 月 12 日 (日)	第 2 回	陸上 AM	座学	沈起こし 簡単な操船	沈起こしのイメージが出来るようにする。 出航・帰着ができるようにする
		海上 PM	実技	簡単な操船	座学で学んだ内容を実技で実施する。
5 月 25 日 (土)	第 3 回	海上	実技	簡単な操船	タック・ジャイブが出来るようにする
5 月 26 日 (日)	第 4 回	海上	実技	簡単な操船	タック・ジャイブが出来るようにする
6 月 22 日 (土)	第 5 回	海上	模擬レース	ソーセージコース でレースを実施	訓練の成果を確認すると共に、1 年生にやりがいを見つけて貰う
8 月下旬	第 6 回	海上	クルーザ体験	選手として、クルーザのレースに出場	ヨットの楽しみ方の視野を広げてもらう（受講者以外の希望者も募る）

➤ 受講時間

座学実施の講義時間 座学 9:30～12:00 実技 13:00～16:00

座学なしの講義時間 実技 9:00～16:00 昼休憩 12:00～13:00

- 天候が悪い時や寒い時などは、陸上で座学を実施する。また、船酔いを考慮し、適時休憩できる体制も整える。
- 座学は、分かり易いようにビデオ等を活用する。
- バッジテストの取得
バッジテストを取得することで、これまで修得した内容を確認すると共に、ヨットに対する意識の向上を図る。
- その他日程 5月11日（土）春季中部学生ヨット選手権大会移動日
5月18日（土）～19日（日）春季中部学生ヨット選手権大会
6月22日（土）中部学連トレーニング(第1回)
6月29日（土）～30日（日）中部女子インカレ
7月6日（土）～7日中部学生ヨット個人選手権大会

4. 受講者対象者

- 受講者は、各大学の新生部員とする。
- 現在の部員が1名だけの大学は、上級生の参加も考慮する。
- その他参加を希望するものは、別途協議する。

5. 講師

- 講師は、各大学のOB、クラス協会関係者、実業団関係など様々な方をお願いをする。特に、受講生のいる学校は、積極的にOBに協力して貰う。
- 1艇に1名の講師が付く様な人数にしたいが、講師人数が集まらない場合は調整を実施する。
- 講師の負担を軽減するため、一人に仕事が偏らないようにする。各日のリーダーを決め、そのリーダーが責任を持って運用して貰う。

6. 費用について

- レスキュー艇、ヨットについては、無料でチャーターする。
- 講師の費用は、無償とする。但し昼食などは、準備する方向で考える。
- 出艇料金、レスキュー艇の費用は、参加校の負担とする。中部学連加盟校が多く参加する場合は、ある程度の学連からの負担も考慮する。

7. レスキュー艇、ヨットについて

- レスキュー艇は、参加校の中から順番に提供して貰う。参加艇が6艇以上になるなら、レスキュー艇を2艇以上とする。
- ヨットは、参加校の中から無償でチャーターする。主催者側の不手際で不具合が生じた場合のみ保証する。ヨットはスナイプで実施する。後半に希望者が多ければ470での実施も考慮する。
- スキッパー育成のために、場合によってはシングルハンドも使用する。

8. 宿泊について

- 講師の宿泊、遠方より参加の大学 1 年生の参加を考慮し、海陽に艇庫のある大学へ、無料で宿泊できるよう艇庫の提供をお願いします。

9. キックオフミーティングの実施

- 3月～4月に実施する。

10. 保険について

- 各部でスポーツ保険等に加入して貰うことで、主催者側での負担を減らす。
- スポーツ保険・バッチテスト等を考慮し、最初の段階で J S A F に加入してもらう。

11. その他

- 来年度を目標にバッチテスト取得と連動して、中級・上級コースを実施する。

12. 連絡先

中部学連 石倉俊宏 [mail:i-toshi@mui.biglobe.ne.jp](mailto:i-toshi@mui.biglobe.ne.jp)
携帯：090-8959-8113

以上